平成31年４月７日執行　横浜市議会議員 中区 選挙区（定数３人）

選　挙　公　報

午後８時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

2期目の挑戦！若さと行動力で即実行!!

自民党公認
いなみ 俊之助（としのすけ）

ここ中区で産まれ育った私が
市会議員として
地域の声を市政に反映し
「誇れる街 中区」を実現します！

いなみが掲げ、行動し、実現する「**誇れる街 中区**」とは

強い横浜

災害に強い街に！
地域の防災活動と連携した「防災・減災まちづくり」を推進し、災害時の避難支援などの防災体制を強化します。

働ける横浜

横浜を住んで働ける街に！
「住みやすさ」「暮らしやすさ」の充実とともに、企業の横浜誘致や商店街活性化など「働く場」の充実にも取り組みます。

世界の横浜

世界中から人が集まる街に！
観光・経済資源としての横浜の価値を再確認し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会も視野に横浜を世界に再発信していきます。

優しい横浜

子育てに優しい街に！
保育所や、幼稚園の一層の充実をはじめ、待機児童などの問題に取り組みます。市の家庭応援事業もより拡大を目指します。

頼れる横浜

高齢者が安心して暮らせる街に！
医療と介護が連携した「地域包括ケアシステム」をつくり、買い物支援や障害者の方への「見守りネットワーク」の充実を進めます。

中区唯一の女性議員！ つくりましょう！ずっと住みたい街 中区

ふくしま 公明党公認
福島 直子（なおこ）

今後の政策
- 地域防災力の向上へ、**学校体育館にエアコン、校庭に夜間照明**を整備します！
- **小児医療費助成を18歳**まで拡大し、所得制限を撤廃します！
- **在宅医療・介護体制の充実、敬老パス**の継続を推進します！
- **中小企業・小規模事業者の支援を強化**します！
- 透明性ある市議会へ、**政務活動費10%削減**、領収書の**Web公開**を実現します！

おもな実績
- 繁華街で夜間避難誘導訓練
- 危険ブロック塀に新補助制度
- 救急相談センターの拡充
- 在宅医療連携拠点の推進
- 高齢者施設と住まいの拡充
- 犯罪被害者等支援条例制定
- 小児医療費助成を拡大
- 幼児教育無償化の全面実施
- アレルギーセンターの拡充
- 山手・石川町・関内駅のバリアフリー化

プロフィール ◆1979年 創価大学法学部卒業、同年 住友建設（株）に入社、建築営業課長として活躍◆2003年 横浜市会議員初当選、現在４期◆公明党 女性局次長、県本部副代表◆横浜市会 健康福祉・医療委員会、同減災対策推進特別委員会◆防災士

※右のQRコードから福島直子の紹介映像をご覧頂けます！

新たな時代 新しい横浜 元気な中区

自民党 公認
松本 研

間もなく、新元号に変わり、新たな時代を迎えます。そして横浜は、これまで経験したことのない人口減少社会・超高齢社会が到来し、地域の活力の低下が懸念されています。一方、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの開催など世界から注目される絶好の機会が訪れます。
これからも6期22年の経験と実績をいかし、「自信と活力にあふれ、安全・安心な暮らしを守る横浜」の実現に向け、中区から発信していきます。

私が目指す横浜です

誰もが健康で生き生きと暮らせる横浜
●住み慣れた地域で安心して暮らせる在宅医療・介護サービスの充実や健康づくりの推進 ●産科・小児科など地域医療の提供体制の推進

自然災害から安全安心を守る横浜
●地域の防災力の強化や自助・共助の推進 ●建築物の耐震化・不燃化の推進

多くの人や企業を惹きつける魅力溢れる横浜
●都心臨海部の新たな魅力づくりや関内・関外地区の活性化 ●市内企業の成長・発展支援や企業誘致の推進

若い世代が夢の実現に向けて、学び働ける横浜
●基礎学力の向上やICTを活用した学習活動の推進 ●国際社会で活躍できる人材育成の推進

●昭和26年中区野毛生れ。本町小学校、浅野学園中学校・高等学校、関東学院大学 経済学部 経営学科卒。
●平成8年横浜市会議員初当選
以後連続6期当選

カジノはいらない

日本共産党
しいや たけし

キッパリ誘致NO！示す市議会へ

「カジノはダメ」の市民の声に押され、林市長はカジノ推進から「白紙」に。議会内の推進派も積極誘致を言えなくなりました。国会でカジノ実施法を強行した自民、公明、維新に厳しい審判を下し、カジノ誘致完全ストップ！

出来たてを、みんなが食べられる、自校調理方式の 中学校給食の実現を

全国で当たり前に実施されている中学校給食を実現します。業者配達弁当「ハマ弁」の給食化ではなく、全国の豊かな給食実践に学び、最良の中学校給食を子ども達へおくりましょう。

中学校給食設備費(全校) **260億円** ←市予算の1.5%

税金の使い方を暮らし最優先へ

不要・不急の大型開発 チェンジ!
大企業優遇 **1000億円**（2019年度予算）
●新市庁舎 ●高速道路 ●新ふ頭 ●民間ビル補助 ●日産への助成金 など

- ■高い国保料引き下げ
- ■特養ホーム増設
- ■18歳まで医療費無料
- ■認可保育園の増設
- ■中小企業支援強化
- ■商店街リフォーム助成
- ・危険な崖、ブロック塀対策
- ・生活道路、歩道、スクールゾーン整備
- ・市営住宅の増設
- ・バス・公共交通充実
- ・敬老パスの継続
- ・再生可能エネルギーの促進

憲法9条活かす日本を　消費税10%中止で暮らし守る

市民と力合わせ

共産党は前回選挙で5人から9人へ。共産党の議席増で、特養ホームが年間3百床から6百床へ倍増、子ども医療費助成が小学1年から、中学3年まで拡大が実現しました。市の予算を市民のために使う。そのために私を議会に送ってください。

<プロフィール>
1947年新潟県出雲崎生まれ／帝京高校（野球部主将）、法政大学卒／29年間、横浜港で港運会社に勤務／その後関内でスナック店を経営／閉店後は画家として再スタート

命とくらしを最優先に みんなの居場所がある横浜へ

社民党公認　看護師
森（もり） ひでお

・立候補の決意・

人とかかわることが好きで看護師の仕事を選び23年働いてきました。学生時代から中区寿町での医療・生活相談活動に参加し、現在も続けています。患者さんや、相談に来られる方々から学んだのは命の尊さです。東日本大震災でボランティアに参加した時、被災された方の生活の困難を目の当たりにして、政治の役割の重要さを痛感しました。人の命と生活を守るためには、政治がしっかりしなければなりません。私は横浜から政治を変えていきます。

看護師 森（もり） ひでお 命（いのち）の政策

- ●**カジノ誘致反対！** 山下ふ頭再開発に市民参加を。
- ●子どもの健康を守る温かくて安心な**中学校給食を実現**。
- ●認可保育園を増やし保育士の待遇を改善して**保育を充実**。
- ●困っている人の所へ**出向いていく健康福祉相談**を実施。
- ●**介護デイサービスを充実**させて家族負担を軽減させる。
- ●**空き部屋活用と家賃補助**ですべての人の住宅貧困を解消。
- ●所得の少ない人をさらに困らせる**消費税増税に反対！**
- ●再生可能エネルギーの活用を横浜から推進して**脱原発**。
- ●**あらゆる差別を解消**させて多文化共生の横浜を。
- ●**平和憲法を守り活かす政治**を横浜から実現。

森ひでおプロフィール 1971年生まれ。看護学校・放送大学を卒業。好きな言葉「義を見てせざるは勇無きなり」2015年横浜市会議員選挙（中区）、2016年参議院選挙（神奈川選挙区）に立候補。社民党横浜市連合副代表。妻と子どもの3人家族。

横浜の介護と医療と福祉はおまかせください！

統一地方選挙
（市会・県会・知事）

投　票　日
4月7日（日）
午前７時～午後８時

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版によって印刷したものです。